

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和3年度 第1回相模原市総合計画審議会		
事務局 (担当課)		政策課 電話042-769-8203 (直通)		
開催日時		令和3年11月12日(金) 9時30分～11時30分		
開催場所		相模原市役所本庁舎本館2階 第1特別会議室		
出席者	委員	9人(別紙のとおり)		
	その他	0人(別紙のとおり)		
	事務局	7人(総合政策部長、政策課長、外5人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議 題		(1) 会長及び副会長の選任について (2) 総合計画進行管理実施方針について (3) 地方創生交付金事業の評価について		

議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり

三橋政策課長の進行により議事に入った。

(1) 会長及び副会長の選任について

(隅河内委員) 会長は牛山委員でどうか。

(異議なし)

(事務局) 会長は牛山委員とする。

(隅河内委員) 副会長は会長に選出していただくのはどうか。

(異議なし)

(事務局) 副会長は会長に選出していただきたい。

(牛山会長) 副会長は長野委員にお願いしたい。

(異議なし)

(事務局) 副会長は長野委員とする。

(2) 総合計画進行管理実施方針について

(須田委員) 施策の評価について、定量的な規定が必要ではないか。

(事務局) 前回までの進行管理においては、例えば実績が目標に対して80%以上であればB評価等と規定していたが、事務局としては今回の進行管理においてはそのような定量的な規定ではなく、各指標や社会経済情勢等を勘案して審議会の中で議論していただくことを想定している。

(出雲委員・宮津委員) 総合計画の指標について、部門別計画に掲げる指標と差があるか。

(事務局) 総合計画は全ての基本計画の上位に位置するものであるため、基本的には総合計画の指標と同一であるが、策定期間が異なる計画については、社会経済情勢の変化や実績値等を踏まえ、修正を行っているものがある可能性がある。

(牛山会長) 部門別計画の指標と異なる指標があるか事務局において確認を行うように。

(事務局) 承知した。

(隅河内委員) 今回の総合計画については、P 2 3 4以降に成果指標一覧として、目標設定の考え方が示されているため、理解がしやすくなっていると思うが、今回の進行管理においては定量的な規定を設けないとのことであるか、再度確認したい。また、評価を行うにあたり、各所管課とのヒアリングを実施する予定はあるか。

(事務局) 定量的な規定だと、例えば指標の目標値をほぼ達成していても、達成度が99.9%だとBとなり、実態を示すのが難しいと感じているため、審議会の中で決めていければと考えている。

(牛山会長) 実際、他の審議会でも実態とABC等の評価が乖離する例もあった。より良い手法を今後検討していきたい。

(事務局) 実際に2次評価を行う来年度第1回目の審議会の際にヒアリングの実施要否を含め、具体的な評価の流れを決定していきたい。

(長野副会長) 部門別計画の指標を各所管課に確認する際に、コロナウイルス感染症の影響を踏まえて変更を行っているかどうか確認していただきたい。

(事務局) 承知した。

(齋藤委員) 2次評価については、1次評価のうち、評価の低いものを実施することだが、2次評価の際は、1次評価について評価が低いと判断した理由等が分かるように書面等で示していただきたい。

(事務局) 各所管課へ依頼する進行管理の様式については簡素化を図っていき

いと考えているが、審議会へ2次評価をお願いする際は、評価に必要な情報を資料上に補足させていただく。

(牛山会長) 事務局においては、今回の審議会の意見を踏まえ、総合計画進行管理実施方針を決定し、審議会に報告を行うこと。

(3) 地方創生交付金事業の評価について

(村田委員) KPI 3つのうち2つが目標値を達成できてはいないが、平成30年度までは実績も順調に推移していたことから、コロナウイルス感染症の影響があったものと考えてよいか。

(事務局) お見込みのとおりである。

(隅河内委員) 5年間を見ると前半は実績も好調であったことや、後半については外部要因があったことを示したうえで、「地方創生に非常に有効的であった」としてもよいと考える。

(長野副会長) KPIの達成数で見るとすれば、KPI 3つのうち2つが未達成というところから、「地方創生に効果があった」が適切なのではないか。

(村田委員) KPI 3つのうち2つが未達成ではあるが、企業の経営者側から見たときに、設定されているKPIが全て前向きな投資を要する項目であるというところから、コロナの影響があったというところは合理性があると考えため「地方創生に相当程度有効であった」でよいと考える。

(事務局) ロボット関連事業の取組により、業界において著名な外資系企業が市内に拠点を構えるなど、KPIに掲げた目標以外にも成果が上がっていると考えている。

(朝山委員) 事業実施による効果がKPIの目標以外にもあるのであれば、評価欄に記載した上で「地方創生に相当程度有効であった」とするのがよいのではないか。

(牛山会長) コロナの影響やKPI以外のコロナの効果等を記載した上で「地方創生に相当程度有効であった」とするかたちでよいか。

(異議なし)

(牛山会長) 事務局において、調書の修正を行い、会長確認後に各委員へ報告を行うこと。

その他

今後のスケジュールについて、事務局から説明を行った。

(牛山会長) 本日の議事は終了とする。

以 上

相模原市総合計画審議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	牛山 久仁彦	明治大学政治経済学部教授 地域行政学科長	会長	出
2	長野 基	東京都立大学都市環境学部都市政策科学科准教授	副会長	出
3	朝山 あつこ	認定 NPO 法人キーパーソン 21 代表理事		出
4	出雲 明子	明治大学専門職大学院ガバナンス研究科教授		出
5	隅河内 司	田園調布学園大学人間福祉学部教授		出
6	横田 樹広	東京都市大学環境学部環境創生学科准教授		欠
7	齋藤 祐子	公募委員		出
8	須田 理	公募委員		出
9	宮津 敏信	公募委員		出
10	村田 大輔	公募委員		出